

いくさか 議会だより



表紙のひと言 P12に関連記事

主な内容 12月定例会（12月6日～14日の9日間）

議案等審査結果…2～3P

委員会報告…4～5P

村政そこが知りたい〔一般質問〕…6～9P

中学生議会（未来の生坂村を考える）…10～11P

村民の声…14P

第 160 号

2023.1.20

長野県生坂村

謹賀新年

新年のごあいさつ



議長
太田 譲

輝かしい新春をご家族お揃いでお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

村民の皆様には、日頃から議会運営や議会活動に対し、温かいご支援ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。昨年も国内は新型コロナウイルス感染症と闘った1年であり、生坂村の最大イベントである「赤とんぼフェスティバル」も3年連続で中止となってしまいました。その他の行事や活動も規模縮小や中止・延期が余儀なくされ、村全体で活気が失われた状況にあつたかと思えます。

そのようなコロナに振り回された1年ではありましたが、議会としましては、村民の声を

傾聴する活動として、談話室「山彦」を議員控室から道の駅いくさかの郷へ場所を変更して開催し、多くの村民の皆様から貴重なご意見を頂けました。本年からは会場を児童館へ変更して開催します。また、新型コロナウイルス感染症の状況を判断して話室の開催も考えていきたいと思えます。

今後、住みよい生坂村、そして村民に近い議会を目指し、村民の多様な意見に耳を傾けながら、村政の適正な監視を続けるとともに、不断のない議会活動を進めてまいります。

結びに、村民の皆様にとりまして、本年が大きく飛躍する年となり、明るい1年となりますよう、議員一同、心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

令和5年1月

4年度補正予算の内容(主な収支)

※数値は四捨五入

一般会計

〈補正額〉5,153万円増

〈収支総額〉25億1,235万円

歳入	
地方交付税	4,676万円
使用料及び手数料	1万円
国庫支出金	6万円
県支出金	364万円
繰越金	△96万円
諸収入	152万円
村債	50万円
計	5,153万円

歳出		
議会費	12万円	
総務費	2,184万円	ふるさと納税関係経費1,550万円、光熱水費3,300万円等
民生費	1,073万円	福祉センター繰出金505万円等
衛生費	70万円	新型コロナウイルス抗原検査キット75万円等
農林水産業費	661万円	農業再生協議会交付金226万円、光熱水費170万円等
商工費	5万円	商工会施設修繕5万円
土木費	848万円	除雪業務費用800万円等
消防費	21万円	退職団員報償21万円
教育費	220万円	光熱水費219万円等
災害復旧費	59万円	村道災害復旧事業(鳥原地区)
計	5,153万円	

福祉センター特別会計	
補正額	507万円
収支総額	9,816万円

簡易水道特別会計	
補正額	510万円
収支総額	19,965万円

農業集落排水特別会計	
補正額	82万円
収支総額	10,215万円

介護保険特別会計	
補正額	1,540万円
収支総額	32,360万円

議案等の審査結果

案件	名 称	内 容	結 果
条 例 案	生坂村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案	関係法令の改正に伴う一部改正	
	生坂村職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例案		
補 正 予 算 案	一般会計補正予算 【第5号】	2ページ参照	全員賛成
	福祉センター特別会計補正予算【第1号】		
	簡易水道特別会計補正予算 【第4号】		
	農業集落排水特別会計補正予算【第3号】		
	介護保険特別会計補正予算 【第2号】		
請 願 ・ 陳 情	「安全・安心の医療・介護実現の人員増と処遇改善」を求める陳情書	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子	

追加議案

条 例 案	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	関係法令の改正に伴う一部改正	多数賛成
	特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例案		全員賛成
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案		
補 正 予 算 案	一般会計補正予算【第6号】	歳入歳出額を319万円追加し、総額を251,554万円とする。 ・人勤に伴う人件費	多数賛成
	簡易水道特別会計補正予算【第5号】		全員賛成
議 員 発 議	「安全・安心の医療・介護実現の人員増と処遇改善」を求める意見書提出	提出者：藤澤幸恵	全員賛成 意見書提出

○第3回議会臨時会

案件	名 称	内 容	結 果
補 正 予 算 案	生坂村一般会計補正予算【第4号】	歳入歳出額を6,023万円追加し、総額を246,082万円とする。 ・議場映像音響設備及び配信設備工事 942万円 ・議会タブレット端末 252万円 ・国道19号防災に伴う支障移設工事 170万円 ・価格高騰緊急支援給付金 1,381万円 ・長野県生活困窮世帯緊急支援金 257万円 ・オミクロン株対応ワクチン接種 634万円 ・物価高騰対策生活応援商品券 1,285万円 ・農道災害復旧工事（宇留賀区大岩下）200万円	全員賛成
	簡易水道特別会計補正予算【第3号】	歳入歳出額を454万円追加し、総額を19,456万円とする。 ・梶本地区配水管布設替工事 454万円	
	農業集落排水特別会計補正予算【第2号】	歳入歳出額を84万円追加し、総額を10,134万円とする。	

総務建経常任委員会

委員会報告

生坂村職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例案

(全員賛成)

問 条例改正後の職員への報酬支給のシミュレーションと今後の人事計画はできているか。

答 改正後のシミュレーションはできており、今後の人事計画についても状況に応じて対応していく。

一般会計補正予算

(全員賛成)

総務課関係

問 ふるさと納税委託料の補正の根拠と来年度に向けての取り組みは。

答 委託料補正は、先行予約のための広告料の上乗せ分。ふるさと納税は貴重な自主財源となるため、来年度は、これまでの実績等を考慮しながら返礼品の種類や確保を行い、先行予約を中心に力を入れていく。

問 いくさか大好き隊員卒業後のケアに力を入れていくべきでは。

答 隊員とは定期的に面談を行

なっており、卒業後にスムーズに自立ができるように対応している。

振興課関係

問 有害鳥獣対策について、猟友会以外にも対応策を考えていくべきでは。

答 猟友会の他にも県林務課で対応策を調査・研究している。結果が分かり次第、議会にも報告する。

問 災害復旧費を使う工事において、その判断は公平に行われているか。

答 地区単位でも協議・精査しながら公平な判断となるように対応していく。

特別会計補正予算

簡易水道

(全員賛成)

農業集落排水

(全員賛成)

社会文教常任委員会

委員会報告

生坂村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案について

(全員賛成)

問 窓口交付は今までと同じく印鑑登録カードが必要か。

答 今回の改正はコンビニで交付する為の改正なので、窓口申請は今までと同じ。

一般会計補正予算

(全員賛成)

住民課関係

問 就労センターの作業量の増は良いが、まだ足りない状況。営業等は頑張っていると思うが状況は。

答 営業効果もあり受注は増えているが、施設作業が間に合わない状況。作業内容は季節により変わってくるが作業員のできる仕事(高齢化)も限られるので調整して受けていく。

問 診療所で個人カードの使用は。

答 申請準備はできた。あとは導入処理が終われば使用できる。

健康福祉課関係

問 抗原検査キットはどんな場合

に村から貰えるのか村民の認知は。

答 毎月チラシで案内を出している。引き続き周知していく。

教育委員会関係

問 国から節電を呼びかけられているが対応はしているか。

答 関係職員に徹底している。

特別会計補正予算

(全員賛成)

福祉センター(やまなみ荘)

問 現在の運営状況は。

答 徐々に宿泊の予約は増えているが宴会は低調。

介護保険

問 介護度が低くても施設利用が必要な話が村でもあるか。

答 諸事情などで利用が必要な方に配慮するケースもある。

請願・陳情

「安全・安心の医療・介護実現の人員増と処遇改善」を求める陳情書趣旨に賛同、意見書提出を決定。

一般質問

12月
定例会

村政そこが知りたい!!



7名の議員が一般質問



一般質問とは…「議員がフリーテーマで執行部に質問・提案を行う場」で、議員独自のカラーが出せる貴重な機会です。村民の生活に関わる様々な声を村政に届け議論が行われます。※質問は一般事務に限ります。

8P〔上〕 吉澤弘迪ひろみち 議員

- 住民の高齢化と生活環境の維持について

8P〔下〕 平田勝章かつあき 議員

- 村内公施設の桜の木の現状と対策について
- 家庭用火災警報器の管理について

9P〔上〕 望月一将かずまさ 議員

- 生坂村特定地域づくり事業協同組合について

9P〔下〕 字引文威ふみたけ 議員

- 昭和電工(株)広津発電所導水路吐水池からの消防用水利取水について
- 藤澤村長5期目出馬について

10P〔上〕 藤原良司よしし 議員

- 在宅介護と施設介護の実情及び要介護者の将来見込みについて
- 全国旅行支援の申請状況について
- 公務出張及び視察同行時のコロナ感染対策について

10P〔下〕 藤澤幸恵さちえ 議員

- ヘリポート設置について
- 小中学生のコロナ自宅待機対応と現状について

11P〔上〕 望月典子のりこ 議員

- 森林環境譲与税の活用について



吉澤弘迪議員

高齢者の多い限界集落や消滅集落の生活環境の維持は副村長 空家バンクで移住した人が自治会に加入し自治活動を行っている



問 村内には限界集落や消滅集落が発生し、そこに居住する高齢者は生活環境を守るための道路の除雪、補修清掃、倒木の伐採除草などに苦慮している。この問題を解決する方法はないか。

副村長 村内の二・三の集落では村の空き家バンク制度を利用して移住した人が自治会に加入し自治活動として集落の生活環境を守るための作業に参加してもらっている。



集落内の道路の清掃

問 限界集落や消滅集落では生活環境を守る作業が広範囲になっていて、公私の判別がつかない。ボランティア作業は自助・共助・公助が原則で

あるが、村では住民サービスの公平性の基準をどこに置いているのか。

村長 地方自治法では地方公共団体は住民の福祉の増進を図ることを基本として自主的かつ総合的に担うものと規定している。しかしすべての住民に住民サービスは公平でなければならぬが住んでいる場所生活体系により生活水準に差が生じてくるのでこの条件も考慮して住民サービスを実施しなくてはならないと考えている。

問 限界集落や消滅集落の消失を防止するために村内の限界集落や消滅集落に若者定住促進住宅を建て、自治活動に参加することを条件に住宅料を無償にすることを提案するが、又宅地は地元から提供してもらったかどうか。

村長 住宅用地を整備するには事業費が必要で、その財源について検討したが現在のところ補助金や有効な起債がない。しかし、人口が減少し生活環境や農地を維持出来なくなつた地区を再生するには良策と考えるので引き続き検討したい。



平田勝章議員

公施設の桜の木の現状と対策は教育長 消毒も含め管理方法を研究したい



問 中学校など公施設の桜の木の健康状態が悪く、枯れるなどしているが、管理者としてどう感じるか。

教育長 枯れている桜の木などの樹木を放置しておくことは、枯れ枝が落下したり、倒れることでの事故や安全性、景観の維持の観点から好ましくないと考えている。

問 Zボルドー銅水和剤の散布、切り口にはトップジンMを塗ることと木の寿命は延びると思つた。

教育長 樹木の管理については各施設の担当者が適宜、目視等により確認をしているが、提案の消毒なども含め研究していきたい。

問 桜から、もみじなどに樹種変換をして、環境を改善する考えは。

教育長 景観への配慮や植樹する場所の環境、近隣住民の思いなども重要な要素と考えている。適切な管理を行った上で、寿命よりも短く枯れてしまつ場合は、専門家に相談しながら研究していきたい。

住宅用火災警報器の現状と管理について

問 住宅の火災警報器は設置後10年

以上経っているが現状と管理状況は。総務課長 村では平成20年度に住宅用火災警報器を1器ずつ配布した。

住宅用火災警報器は設置後10年が過ぎたものは交換をし、維持については日常の点検による電池切れや故障の確認を行っていくことが必要。

問 住宅用火災警報器は耐用年数を過ぎているが、前回同様に支給する考えは。

村長 新築などで火災警報器を交換している家庭もあるので、更新の啓発や設置状況等を調査し、支給の可否なども検討するように考えている。

問 廃棄された火災警報器の廃棄処分は村として一括処分する考えは。

住民課長 ご高齢の家庭もあり警報機の取り外しや本体の解体方法が分からない方もいらっしゃると思つたので一括処分も含め、回収すればよいのか、また処分方法などについても研究していきたい。



住宅火災警報器



望月一将議員

特定地域づくり事業協同組合を活用した有償運送サービスの拡充は副村長 有効な制度活用方法であると考えます。検討する



問 当村が運営し、人材派遣を行う「生坂村特定地域づくり事業協同組合」の現在の状況・今後の課題と展望は。

副村長 現在、6組合員と2名の組合職員で運営している。組合員・組合職員の確保の他、職員の派遣期間や派遣先の仕事量を考慮した仕組みづくりが課題と考えます。職員が採用から定年に至るまで安心して働ける環境を整備していきます。

問 島根県の海士町のような同制度の先進地域の取り組みを参考にしながら、事業者や職員確保ができるような周知をしていく予定は。

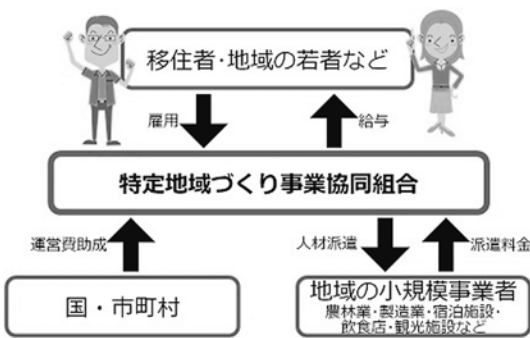
副村長 参考にして更なる周知を図っていきます。

問 検討対象と回答のあった社会福祉協議会の有償運送サービス拡充の他に、農業公社と連携した新しい名産品や特産品開発による農業・産業振興については制度活用による実現の可能性はあるか。
また、「村内の集落維持管理」や「自治活動の手伝い」を行うような事業も社会福祉協議会や農業公社との連携

によって可能になってくると考える。検討の対象には入るか。

副村長 制度上の制約があり、難しい部分もあるが組合理事と協議をしていきたい。

提言 当村のような小さな自治体においては、当組合制度を充分に使いこなせる民間の事業者は少ないため、社会福祉協議会や農業公社を活用することが成功事例を作る第一歩になると考える。村民の意見も参考にしながら村の課題解決の一助となるような協議を期待する。



字引文威議員

昭和電工(株)広津発電所 消防水利用について 総務課長 協議検討していきます



問 令和3年2月下旬ノ田火災の後昭和電工広津発電所吐水池から消防水利水源利用が可能になって1年半が経つが、消防訓練活動がなされていないが、その後の行政の対応は。

総務課長 昭和電工との消防水利利用は昨年7月に消防法第30条の規定による消防水利として利用可能であるとの昭和電工(株)の理解を頂いた。吐水池ゲートの管理は昭和電工が行うこと。緊急時の連絡は村総務課から昭和電工の担当者へ直接連絡をとること等が確認合意している。その後利用条件については当初のまま。

問 なぜ当施設の送水訓練が今まで実施されなかったのか。

総務課長 昭和電工が発電の為に許可を受けている水利権であり、緊急時の場合を除き利用することは難しい為。しかし送水を伴わない訓練は昭和電工様のご理解を頂き、検討協議を進めたい。

問 火災はいつ発生するか分からない。昭和電工の許可を得て実際の送水訓練の実施が必要では。それには資機材搬入路の整備確認、実際の吐

水池での消防団員の安全作業方法の確認。また、下流域への送水圧力管理訓練も必要では。

総務課長 吐水池の水を有効に利用するには消防団員の安全確保を優先に、訓練等で吐水池周辺の実情を調べておく必要があり、実際の取水訓練を昭和電工の理解を頂き、実施できるよう進めて行く。

提言 吐水池の取水作業を安全確実に実施できるよう取水取り入れ口を設けることを提案。



広津発電所吐水池



藤原良司議員

高齢者のみの世帯にUターンする世帯への補助を
村長 高齢者のみ世帯の減少になる
支援は、比較検討していく



問 在宅介護と施設介護の現状は。

健康福祉課長 居宅介護サービスと地域密着型サービス受給者月平均102名程で、在宅介護と施設介護サービスは一人当たり年額912千円の差額となる。

後期高齢者のみの世帯数の施設入所者の割合は11%ほど、将来在宅可能世帯は50%程度と考えている。

問・提案 施設入所は必要に迫られ入所している。これを解消することが行政の課題である。在宅介護のほとんどは社協であり、重要な就業の場でもある。在宅介護が増えれば福祉予算に大きな効果がある。

高齢者世帯への同居に対する補助を検討すべきと提案する。

村長 疾病・介護予防促進のため保健事業と介護予防の一体的な取組を実施している。Uターンする世帯にだけ補助金は、現在介護されている方との調整が必要になるが、高齢者のみ世帯の減少につながるのので、比較検討していく。

提案 介護度の低い方の自宅生活の維持のため、以前の提案は企画費の補助金を活用し住宅の改修等の補助をというもので、移住者への住宅改修補助の拡充を再提案する。

問 医療警報・非常事態宣言の発出時には不在出張。この時の対応は。

村長 不在時には副村長に、メール等で常に連絡を取り合い対応している。

提案 最高責任者は陣頭指揮が必要などときがあるので、いつ視察を打ち切るか、緊急時のマニュアルを検討されるよう期待する。



休業日の「はるかぜ」



藤澤幸恵議員

新型コロナウイルスによる自宅待機
児童の対応は
教育長 学校と児童生徒等との関係を
継続することが重要と考えている



問 新型コロナウイルスの第8波により陽性者が急増している。本人が陽性者となると7日間の自宅療養期間が必要となる。また家族が感染し、濃厚接触者となった児童生徒は5日間の自宅待機を余儀なくされる。自宅待機となった児童生徒に対する対応は。

教育長 出席停止によりやむを得ず登校できない児童生徒に対しては、無症状や症状が軽く自宅で学習が可能な場合、タブレット端末も活用しながら、学習に著しい遅れが生じることがないよう、学校と児童生徒等との関係を継続することが重要と考えている。

問 見えてきた問題点、課題等はあるか

教育長 電子黒板やタブレット等のICT機器の整備が進んだが、ICT機器やその活用に関する専門的な知識を持つ教職員が少なく、試行錯誤しながら活用をしているところ。教職員が専門的な知識を習得できる機会の確保や専門的な知識を持った

教員やICT支援員の配置が必要といった課題がある。

問 旧北小学校にはヘリポートが設置されているが、他にはない。当村は高齢化率も高く、緊急の事態も多く想定される。やまなみ荘下のゲートボール場をヘリポート第一使用目的にするよう提案するが。

村長 ドクターヘリや消防防災ヘリの着陸にあたっては、消防署職員や航空隊職員が地上での確認誘導を行っており、ドクターヘリを着陸させる場合は消防署において着陸が可能かということと、救急車の運行も併せて検討し決定をしている。現在は着陸場として海洋センター駐車場を登録している。現状の登録は変更する必要はない旨の報告を受けている。今後消防署からの要請に臨機応変に対応し、安全な運行に協力をしていく。



望月典子議員

森林環境譲与税の活用について
振興課長 ライフライン沿いの緊急性の高い支障木の伐採を進めて行く



問 森林環境譲与税で、整備する所有者の数、境界の把握は進んでいるか。また、意向調査では、どんなことを聞いているのか。

振興課長 村内の森林基本図、所有者番号の状況を記したのももあるが、いま数字で答えることは出来ない。ライフライン沿いは所有者の把握が可能のため、先行して整備を実施している。意向調査は現在の経営管理状況、過去の整備実績、今後の管理はどうするのか等を聞きとっている。

提言 村民アンケートでも村に管理してほしいという数が圧倒的に多い。補助金を有効活用して、一人でも多くの人に役立ててほしい。

問 人材育成の対策は。今までに実施したことは。

振興課長 高津屋森林公園では組合員が自発的に、継続的に森林整備を行っており、山菜など地域の特産物を活用したイベントなどを開催している。そうした活動を途絶えさせることなく支援して行くことが人材育成に繋がると考える。

問 今までに講演会、森の中での体験会を開催したことは。

振興課長 竹林については年一回、三年ほど開催し、好評を得ているが森林は実施していない。村民の要望等を伺いながら今後検討したい。

問 中学生の活動に、将来の人材育成の観点から各地の林業専門校の見学、体験、交流はどうか。

教育長 現在中学校では個人の社会的・職業的自立に向けた能力等を育成するために「キャリア教育」を実施しているが、今後村として人材育成を進めるようになればキャリア教育の取り組みの中に林業専門校の見学等も考えられる。

問 中学校の授業の一端として森の中の学習や、体験は可能か。

教育長 学習の目的とか、時間数とか課題はあるが可能だと思っ。

提言 中学生の意識啓発のためにも林業特化の「キャリア教育」の実践が待たれる。

広域・一部事務組合の情報

松本広域連合

(松本・塩尻・安曇野・東筑の消防と介護事務)

11月14日(月)定例会
令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定
歳入 48億8262万円(生坂村負担金:4129万円)
歳出 44億9389万円
差引 3億8873万千円

松本広域連合職員定数条例の一部を改正する条例案
定数395人を433人に改める。
令和5年4月1日から施行

穂高広域施設組合

(安曇野・東筑・北安のごみ処理)

11月17日(木)定例会
令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定
歳入 11億4838万円(生坂村負担金:1984万円)
歳出 10億9674万円
差引 5164万円

令和4年度一般会計歳入歳出補正予算の認定
歳入歳出 6万円追加
歳入歳出総額 10億1626万円

安曇野松筑広域環境施設組合

葬祭センター

11月15日(火)定例会
令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定
歳入 1億2042万円
歳出 1億1688万円
差引 354万円

松塩筑木曾老人福祉施設組合

(松本・塩尻・東筑・木曾の福祉施設)

11月10日(木)定例会
令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定
歳入 44億8936万円
歳出 43億3547万円
差引 1億5389万円

12月22日

中学生 議会

模擬議会が開会！

議場には村長、副村長、教育長はじめ、各担当課長も出席。本番さながらの緊張感の中、生徒たちは4班に分かれ、鳥獣害対策や公共施設の利用促進、文化財保護・活用、教育について質問。

やまなみ荘へのサウナ導入や総合グラウンドの整備、一星亭の宿泊・カフェ活用、デジタル教科書導入、村営バスの日曜運行など、身近な課題を他自治体の先進例も交えて村側の考えを聞いた。

若者らしい大胆で斬新な提案に参加した議員たちも身の引き締まる思いをした。

一人ひとりに合わせた教育を取り入れて特色のある学校づくりを！



教育長：生坂中学校は小規模だが、これをメリットと捉えることにより「個別最適な学び」を実践できると考えている。

インターナショナルスクールとの交流事業で異文化体験を！

教育長：外国籍の方々とのコミュニケーションは大切と考える。どういった交流が可能か研究していく。



京丹後市のような住民ドライバー制度を！



村長 NPO 法人等で運営組織ができれば可能だが、まずはデマンドバスでの対応を考えていきたい。

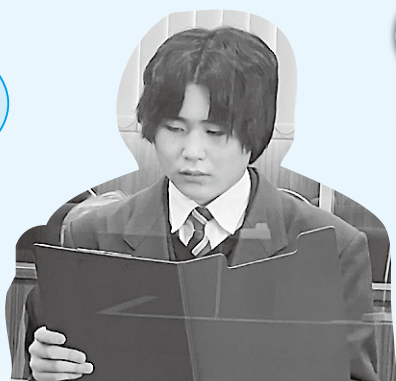
加藤正治の漫画本をアニメ化すればもっと認知されるのでは？

教育次長 加藤正治をもっと知ってもらうためにも良い提案だと考える。研究したい。

一星亭の保存・活用のための資金をクラウドファンディングで募っては？

教育長 村内の関係者・中央大学出身者等にも協力してもらええる手段としては有効なので検討したい。

生坂の 重要文化財を守る会





生坂中学校

生坂中学校3年生は、8月から議員たちと話し合ってきた村内課題とその解決案を今回の模擬議会で行政に投げかけた。

野生鳥獣の大切な命を守る会



丸山牧場または、高津屋森林公園を活用してシカ牧場を運営しては？

村長 観光面では有効だが、牧場までの搬入・手順など負担が多いが研究していきたい。

ジビエカーを導入して捕獲した鳥獣をムダなく活用しては？

村長 猟友会の意見等も参考にして研究していきたい。



高津屋森林公園に大型アスレチック設置を提案します！

村長 誘客にも繋がるので、安全性や費用対効果を含めて研究していきたい。



いくさかの郷からやまなみ荘を繋ぐイルミネーションロードをしては？

村長 児童生徒の協力と行政の力を合わせて実現できるか模索してみる。



公共施設の利用者を増やす会

生坂中学校模擬議会に参加して

令和四年二月二日に、生坂村議会にて、第一回生坂中学校模擬議会（子ども議会）が開かれ、中学二年生八名が参加しました。

二年生は、「生坂に貢献する」をテーマに総合的な学習の時間を通して地域貢献のあり方を考えています。本年度は、生坂村の抱える課題について、中学生なりの解決策を提言しようと学習を進めてきました。

学習を進めていく上で、村議会議員や教育委員会の皆様に助言を頂きながら、
①野生鳥獣の大切な命を守る会、②公共施設の利用者を増やす会、③生坂の重要文化財を守る会、④未来の子供を考える

今日は、子ども議会当選口でした。私達が今まで考えてきた案一つ一つに対して、村長さんや教育長さんが丁寧に聴いて、一つ一つ深く答弁して下さりとても嬉しかったです。回答では、私たちの提言について柔軟に受けとめて下さり、「凄いな」と思いました。また、「検討して下ろせ」と仰っていただいたので、これからが楽しみです。（生活記録より）

会といった四つの会派をつくって追究してきました。

当日は、村長、教育長を始め、村議会議員、役場の各部署の方々が参集する中で、実際の議会同様、厳粛に行われました。

私は、議会冒頭より固唾を呑んで見守っていましたが、一つの提言に回答するために、その可能性や有効性に至るまで、しっかりと調査していただいる事に敬意を持ちました。また、否定をせず、丁寧に回答して下さったことについて、感謝の思いでいっぱいです。

近年、中高生が地域課題について考える学習が、新聞各紙でも大きく取り上げられています。今回の経験は、限りなく本物に近い模擬議会であり、他の地域ではなかなかできない貴重な機会であったと思います。生徒達は、「本物」に触れただけでなく、地域行政に携わる大人の「本気」にも触れる機会となりました。このような貴重な機会を与えて下さった村長、教育長を始め関係各位の皆様方、また、模擬議会の企画運営にご尽力を下された太田議長をはじめとする村議会議員の皆様方に、この場を借りて深く御礼を申し上げます。生徒達には、この経験をこれからの学習や人生に大きく役立ててほしいと願っております。

議 会 日 誌

11月

- 2日 プレミアム商品券抽選会
議会全員協議会・第3回臨時議会
- 9～10日 町村議会議長全国大会・国要望活動(東京都)
- 10日 松塩筑木曾老人施設組合議会11月定例会(塩尻市)
- 14日 松本広域連合11月定例会(松本市)
- 16日 議会全員協議会
- 17日 東筑議会議長会県要望活動(長野市)
穂高広域施設組合議会定例会(安曇野市)
- 21日 やまなみ荘定例会
- 23日 イクラン2022松本山雅FC
いくさか「創造の森」収穫祭
- 24日 議会運営委員会
- 25～29日 定期監査／例月出納検査
- 29日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議
いくさかの郷定例会
- 30日 生坂農業未来創りプロジェクト会議

12月

- 2日 議会全員協議会
- 6日 12月定例会 開会
- 7～8日 本会議・一般質問
- 9日 総務建経常任委員会

- 12日 社会文教常任委員会
- 14日 本会議・追加議案・閉会／議会全員協議会
- 15日 いくさかの郷定例会
- 16日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議
- 19日 やまなみ荘定例会
- 20日 議会だより編集委員会
- 22日 中学生模擬議会
- 23日 議会だより編集委員会
脱炭素ロードマップ検討委員会／やまなみ荘運営委員会
- 26日 生坂農業未来創りプロジェクト会議／例月出納検査

1月

- 3日 令和5年二十歳の集い
- 6日 賀詞交歓会
- 8日 消防団出初式
- 11日 議会だより編集委員会
- 17日 議会全員協議会・第1回臨時議会
- 18日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議／いくさかの郷定例会
- 19日 やまなみ荘定例会
- 20日 JA松本ハイランドとの行政懇談会
歯科診療所運営委員会／社会就労センター運営委員会
- 23日 上下水道運営委員会
- 25日 国民健康保険運営委員会／介護保険運営委員会
- 27日 脱炭素ロードマップ検討委員会

議会行政視察報告

10月20日～22日

今回、議会では先進地視察として徳島県鳴門市・上勝町・美馬市を訪問してきました。併せて「いくさかの郷」の参考になればと各地の「道の駅」も見学してきました。各議員より提出されたレポートから抽出しました。



ガラス集合写真

視察地1 「ガラス集鳴門ファーム」

食用コオロギの事業化を目的に令和元年に設立した徳島大学発のベンチャー企業。今後起きるとされている食糧危機を見据えたビジネスで、大手企業との連携による品質向上・

ブランド力強化の点で見習う点が多くあったと感じた。



コオロギ

視察地2 「上勝町ゼロ・ウェイスト」(株) いるどり

人口1500人、高齢化率50%超えの四国で一番小さな町が特色ある町おこしと成功例で注目され続けている町。地域の高齢者の皆さんが山の葉っぱなどを料理のツマモノとして出荷するビジネス。上勝町が全国に知られるきっかけの事業でその年収は2〜3億円とのこと。また町内から出る焼却・埋立ゴミをゼロにする目標を掲げたゼロ・ウェイスト宣言を軸として分別を町民自ら行い現在ではリサイクル率が80%以上に達し持続可能な循環型社会構築の流れも相まって注目されて「足りないものを、そこにあるものを活用しな

がら自ら補っていく」という本来ある「コミュニティの姿が参考になった。



ゼロウェイスト施設



アースシップ外観

視察地3 アースシップMIMA

生坂においてもオフグリットハウスの建設を予定しているため実用性・活用方法について伺ってきた。斬新なデザインの中にも環境への配

慮がなされ自然との調和も取れた工夫が随所に見えた。オフグリットという観点以外からも、このような意図を持った建造物は、一つの自治体へ及ぼす影響は大きい。



アースシップ内観

山彦だより

談話室「山彦」のお知らせ

昨年から皆さんのお声を聞かせて頂いている談話室「山彦」は左記のように開催場所、開催日時が変更となりますので宜しくお願いたします。

場所 児童館

日時 毎週水曜日 13時～15時

これからは各地区にお伺いすることも計画しますので、今後共、宜しくお願いいたします。

村民の声

移住三度目の冬を迎えて

島 幸恵



生坂村に移住したのは、古民家に住みたかったのと、食べ物もエネルギーも自給してなるべく自然に負荷をかけない暮らしがしたいと思ったからです。草に負けたり動物に食べ

られたりしますが、自分で食べる米や野菜は自給できるようになりました。鶏を飼い始めたので卵が採れま

すし、肉は猟友会の皆さんが鹿をくださるのでおいしく食べています。年末近くになってやっと薪ストーブを設置し始めました。薪割りもしないと…狩猟の罠もかけに行きたい…。田舎暮らしは忙しいです。

が出やすいという研究結果がありま

す。生物多様性保護などの観点から、有識者を交えた勉強会や村民の意見交換会ができないかと思

います。生坂村の給食費は無料ですが、オーガニック給食になったらもっといいなと思います。隣の池田町・松川村では月一回有機米が給食に出されています。オーガニック給食をきっかけに有機農家が増えたり、保護者が気を付けて食品を選ぶようになって、その結果地域の医療費が減ったという例もあります。先ずは一回、生坂村でも実施できるように議会でも取り上げていただければと思います。

消火栓ペイント 作戦活動

この数年新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、議会活動が思うよう

に出来ず、何か村のお役に立てないかと考え、村民の皆様の安心・安全な生活に欠くことの出来ない消火栓

の設置状況確認と赤い塗装が古びて目立たないことを改善しようと作業を始めました。
9月末から作戦開始。作業に併せて音聴棒により、消火栓の漏水調査も協力しています。
12月時点で下記の地域を終了。
古坂区、宇留賀区、大日向区
昭津区、下生坂区を終了。
総計86箇所を点検終了。
草尾区、上生坂区、日岐区、下生野区、小立野区は引き続き1月から実施致します。



編集後記

昨年末の大雪災害もあり、寒い信州になりましたが、新型コロナウイルスも変位を繰り返しながらも3年

も過ぎ第8波の感染拡大傾向が未だ収まらない状況が続いています。

早くコロナ禍が終結し、インフルエンザ級になることを期待する今日この頃です。
今年1月には統一地方選の生坂村村長選挙も1月に告示され、2月には新たな村政もスタートします。
村民の皆様に「議会便り」を通じて議会をもっと身近に感じて頂けるよう編集委員尽力してまいります。

(宇引文威)

編集・発行責任者

議長 太田 讓

編集委員

委員長 宇引 文威
副委員長 望月 一将
委員 藤澤 幸恵
" 平田 勝草
" 太田 讓
" 望月 典子